

会員連絡

大会について

第六〇回総会及び第六七回大会が、五月一七日(土)、一八日(日)の両日、広島大学東広島キャンパスにおいて開催されます。大会プログラムは別途添付資料を参照下さい。

- ・同封の葉書で大会及び懇親会の出欠を、五月二日(金)までにお知らせ下さい。
- ・会場周辺には飲食店が少ないため、会場入りする前に昼食のご用意をお願いいたします。特に二日目一日は休日のため、大学構内の飲食店が開いておりませんのでご注意下さい。

会員資格について

近年連絡先不明の長期会費未納会員の方が多く、日本哲学会の運営および財政上不都合が生じております。日本哲学会では、今年度より会費未納猶予期間を短縮し四年以上会費未納の会員は、日本哲学会会員資格を停止するものとし、学会誌『哲学』等の発送も停止いたします。会費未納期間が三年以上になる会員の方には、書面にてその旨ご連絡させていただきます。四年目の会費年度中に会費を納入していただけない場合は、会員資格が停止されますのでご注意下さい。なお、会員資格を停止された方が資格の復活を希望される場合は、会費未納期間分の会費(二万四千円分)の支払いを条件といたします。

会費について

二〇〇八年度会費をお納め下さい。今年度会費(六千円)を含めたご請求額は封筒の宛名フェルの右下に表示しております。同封の振込用紙にてお振込をお願いいたします。(納入会費に超過分のある方には振込用紙を同封してありません。)また、会費未納三年以上の方は会員資格にかかわる重大なお知らせを同封しておりますのでよくお読みいただき未納分の会費をお納め下さい。なお、ご請求金額は二〇〇八年二月末の資料(会費年度は、三月一日から翌年の二月末まで)に基づいております。行き違いの節はご容赦下さい。領収証は郵便振替用紙の払込票をもってかえさせていただきます。大会当日、会場でのお支払いの場合は領収証を発行致します。

公募論文について

- 1 論文テーマ 哲学に関するもの。ただし、未公開のものに限りません。
- 2 応募資格 当年度会費を納入済みの日本哲学会会員であること。ただし、前年度の『哲学』に公募論文が掲載された者を除きます。
- 3 使用言語 日本語、もしくは英語、ドイツ語、フランス語
- 4 原稿分量 以下の形式で応募して下さい。
 - ・日本語、欧文、いずれの場合も句点、ピリオド等も字句数に数える。
 - ・枚数は厳守のこと。
 - ・日本語の場合：本文と注を 四〇字×四〇行でレイアウトして(改行などによるスペースも含めて)一〇枚以内。
 - ・欧文論文の場合：本文と注を含め六〇〇語以内。日本語の全訳(もしくはパラグラフの順序に忠実な要約)を付けて下さい。
- 5 欧文要旨 日本語、欧文論文とともに、三〇〇語程度の欧文要旨(英・独・仏語のいずれか)とその日本語訳を作成して下さい。
- 6 提出物 以下の要領でそれぞれのを必要部数揃えて提出して下さい。
 - ・原稿はA4判用紙に左記の要領で印刷して下さい。応募原稿には、氏名、ふりがな、所属機関名を明記のじや。
 - ・日本語の場合：一頁四〇字×四〇行で印字したものを五部(本文と注は同じポイントで)。
 - ・欧文論文の場合：特に印字の指定はありませんが、その日本語訳は同じく一頁四〇字×四〇行印

字し、欧文論文とその日本語訳をそれぞれ五部。

・欧文要旨とその日本語訳を各五部。

・「応募論文調書」を一部(調書の書式は、HPからダウンロードできます)。

・原稿ファイル(ワープロ用のファイルとテキストファイルの二種類)、欧文要旨及びその邦訳、論文調書の三つを添付ファイルとして、Eメールで日本哲学会事務局(nittetu@philosophy-japan.org)まで送って下さい。

7 提出要領

・欧文論文の場合、ネイティブ・チェックをあらかじめ受けるものとします。ネイティブ・チェッカーによるチェック済の証明書と、そのチェッカーの経歴書(ともに書式自由)各一部を添えること。以上を揃えた上で、封筒の表に「公募論文原稿在中」と明記の上、日本哲学会事務局宛に郵送して下さい。(なお、提出された原稿は返却しておりません。)

8 応募締め切り

随時提出することができます。『哲学』次号掲載のための締め切り目安は六月末ですが、その期日内に提出された論文であっても、採用された論文の数が多い場合や、書き直し等により審査に日数を要する場合など、次々号以降に掲載が延期されることもあります。

9 審査

編集委員会の責任において審査・選考します。審査の過程で問題点を応募者に指摘し、書き直しの要求をする場合があります。また、不採用になったものについても、その結果と理由を通知しております。なお、審査の過程が論文によって異なるため、結果の通知は随時行っております。

・かつて「不採用」と判定された応募者が、判定六カ月以内に新たに論文を投稿し、この新規投稿論文が旧論文とほぼ同内容と判断された場合は、「二重投稿」とみなされて「不採用」となります。

・書き直し再投稿、字句修正の指示を受けた修正稿を提出する場合は、論文原稿、欧文要旨及びその邦訳、論文調書を添付ファイルとしてEメールで日本哲学会事務局まで送付し、印刷物は採用が確定した後指示を受けてから郵送して下さい。

・欧文論文の場合は書き直し再投稿、修正稿の審査結果が出た後、改めて確定稿についてネイティブチェックを受け証明書を提出して下さい。

その他

二〇〇七年八月以降の新入会員名簿と『名簿』の訂正・変更表を同封致します。また、住所等変更のある方で、事務局に未届の会員の方がいらっしゃいましたら、同封の大会用出欠葉書に朱書きで「返送ください」。

日中交流の成果として、学文社より本が出版されました。

野家啓一・卜崇道・尾関周二編

『現代に挑む哲学 日中共同研究：東アジアの観点から』(学文社二〇〇七年十一月十日発行 二千円)

国際哲学会議ソウル大会が、七月三十日から八月五日まで韓国ソウルで開かれます。日本哲学会が関与する日韓合同セッションは、「東アジア諸国における哲学と哲学者」という統一テーマ(「哲学教育」「哲学と社会」という二つの小セッションを含む)で、大会の期間内に開催の予定です。多数の会員の参加を期待しています。「問合せ先：日本哲学会事務局 左記連絡先参照」

連絡は郵便またはEメールでお願いいたします。

慶應大学文学部内 日本哲学会事務局 〒一〇八・八三四五 東京都港区三田二・一五四五

Eメール：nittetu@philosophy-japan.org 電話：090-3802-5114(但し、水金曜一時から四時まで)

(注)事務局のメールアドレスが変更になっておりますが、旧アドレスでも転送処理を行っておりますのでご安心下さい。

以上

二〇〇八年四月一日

日本哲学会事務局

会 員 各 位